

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2025年3月期 第1四半期 ～

2024年8月2日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況> 2025年3月期 第1四半期業績

(単位:百万円)

	2024年3月期 第1四半期 連結 (2023年4月～6月)		2025年3月期 第1四半期 連結 (2024年4月～6月)	前年同期比 増減率(%)
営業収益	51,050	過去 最高	56,751	+11.2
純営業収益	45,328	過去 最高	51,058	+12.6
営業利益	18,399	過去 最高	20,088	+ 9.2
経常利益	18,735	過去 最高	19,409	+ 3.6
親会社株主に帰属 する四半期利益	13,097	過去 最高	13,305	+ 1.6

＜決算概況＞大手対面証券会社とオンライン証券各社のapples-to-applesの業績比較

2025年3月期第1四半期

(単位:百万円)

	営業収益	前四半期比 増減率(%)	営業利益	前四半期比 増減率(%)
野村 (単体)	229,166	+15.9	50,603	+5.5
大和 (単体)	113,680	+0.1	24,610	▲14.6
SBI (連結)	56,751	+9.8	20,088	+29.4
三菱UFJMS (単体)	90,187	▲2.7	19,823	▲19.3
みずほ (単体)	124,176	+0.7	17,648	+46.0
SMBC日興 (単体)	122,092	+7.3	12,997	+45.9
楽天 ※1 (連結)	33,022	+5.9	9,029	+29.1
東海東京FHD (連結)	23,203	▲5.7	4,569	▲4.9
松井 (連結)	9,895	▲12.5	4,235	▲2.8
岡三証券G (連結)	21,117	▲10.7	3,952	▲34.0
マネックスG ※2 (連結)	19,244	▲3.5	2,165	▲37.0
auカブコム (単体)	6,375	▲2.4	1,253	▲26.0
GMOFHD ※1 (連結)	13,223	+2.7	568	▲86.9

前年下期より、
国内株式オンライン取引
の委託手数料を無料化

【無料化実施前との比較】
対、前年同四半期比
営業利益増減率

SBI **+9.2%**

楽天 **▲5.1%**

※1 楽天証券およびGMOフィナンシャルホールディングスについては、12月決算期の会社であるため、2024年4月～2024年6月の期間での数値を使用

※2 マネックスグループはIFRSであり、営業利益は営業利益相当額の値を使用

※3 各社の公開資料をもとに当社にて作成

<決算概況> 四半期毎の業績推移

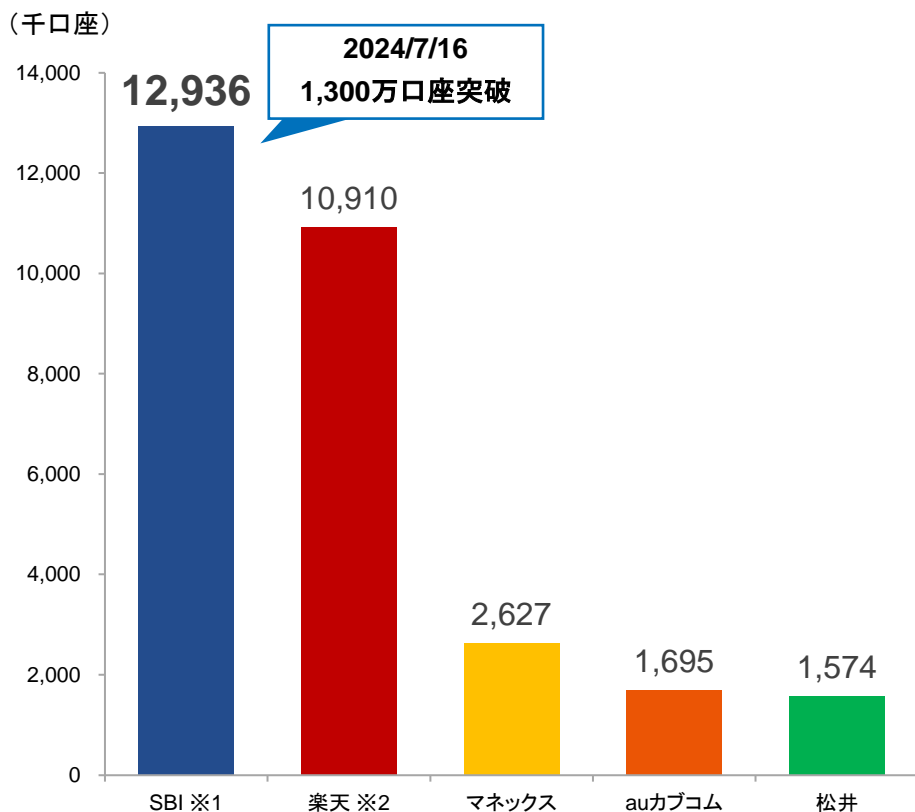
(単位:百万円)

項目	2024年3月期				2025年3月期	前四半期比 増減率(%)
	第1四半期 (23年4~6月)	第2四半期 (23年7~9月)	第3四半期 (23年10~12月)	第4四半期 (24年1~3月)	第1四半期 (24年4~6月)	
営業収益	51,050	51,040	49,643	51,664	56,751	+ 9.8
純営業収益	45,328	46,502	44,977	45,944	51,058	+11.1
営業利益	18,399	18,645	16,122	15,518	20,088	+29.4
経常利益	18,735	18,832	16,496	15,488	19,409	+25.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,097	12,534	10,589	11,160	13,305	+19.2

主要インターネット証券口座数比較

- 2024年7月、インターネット証券初の1,300万口座を突破。

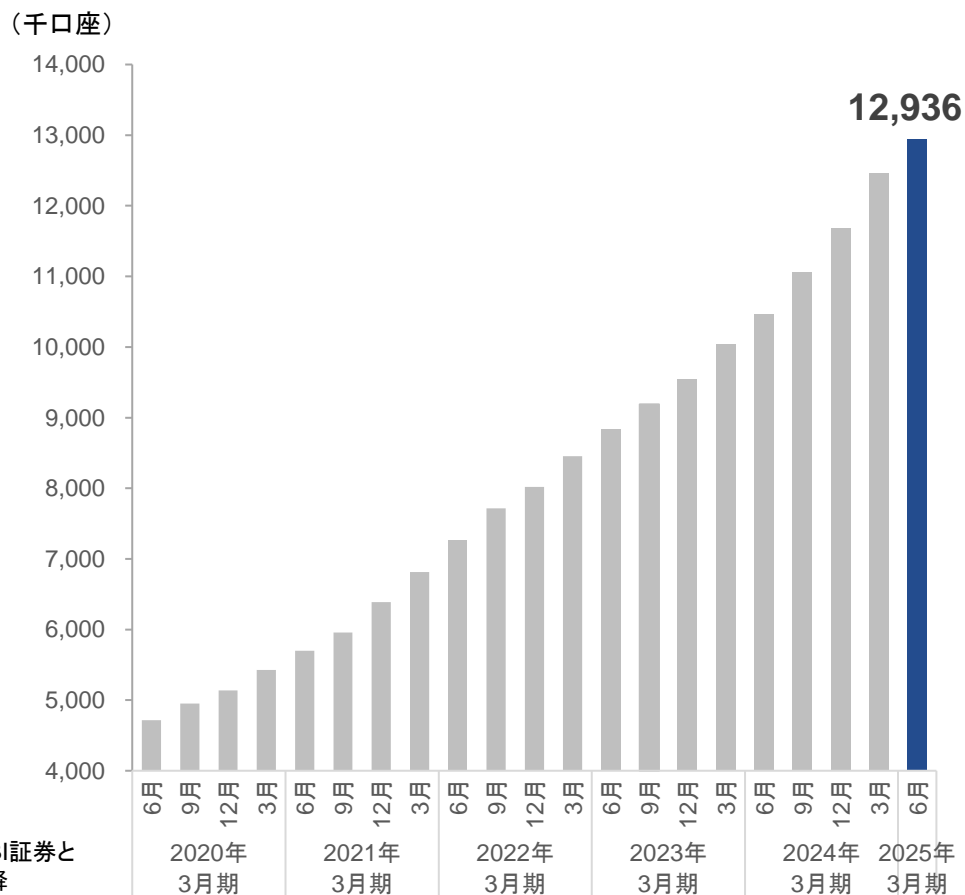
＜主要インターネット証券5社の口座数＞ (2024年6月末時点)



※1 SBIの口座数には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の口座数、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数、2021年8月末以降FOLIO口座数を含む

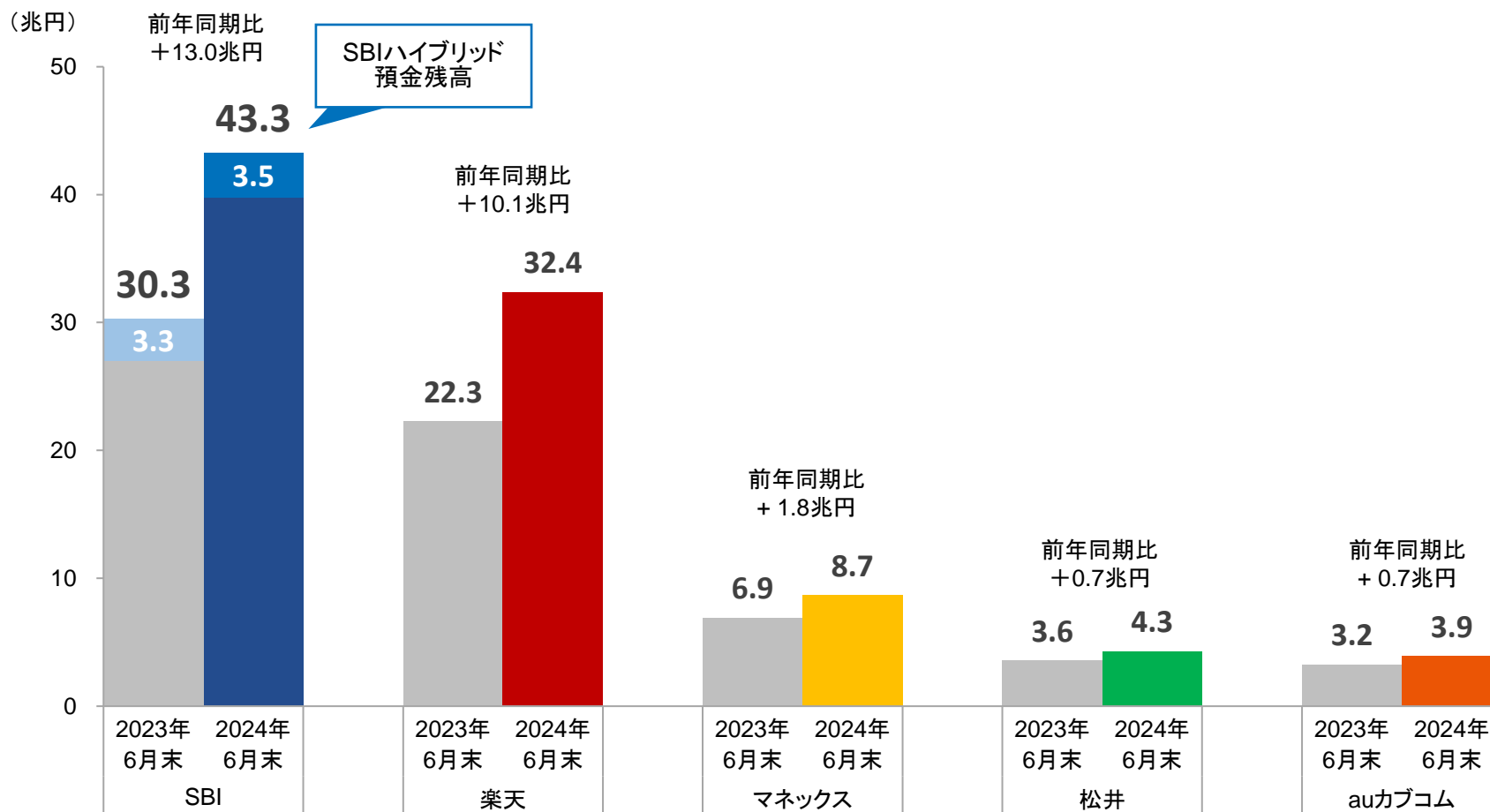
※2 楽天証券の口座数は、2024年3月末の数値
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

＜口座数推移＞※1 (各月末推移)



主要インターネット証券の預り資産残高比較

- SBIハイブリッド預金残高を含めると、SBIの2024年6月末預り資産残高は前年同期比42.9%増の約43.3兆円。



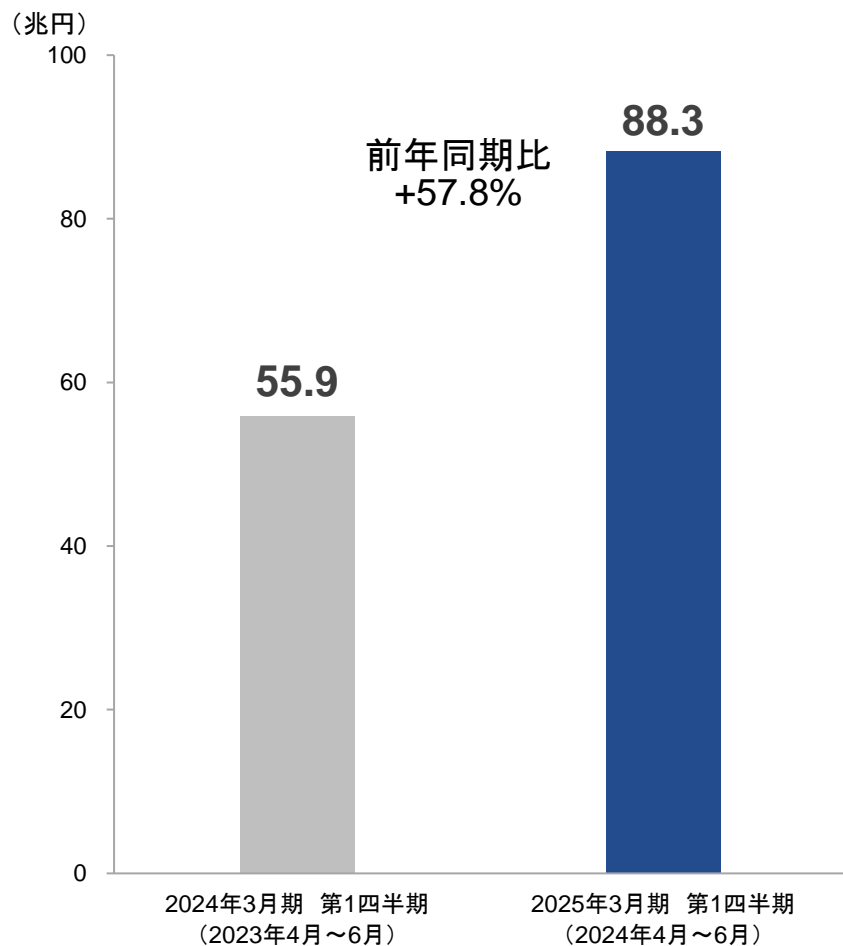
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

※SBIの預り資産残高には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の預り資産残高、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の預り資産残高、2021年8月末以降FOLIO預り資産残高を含む

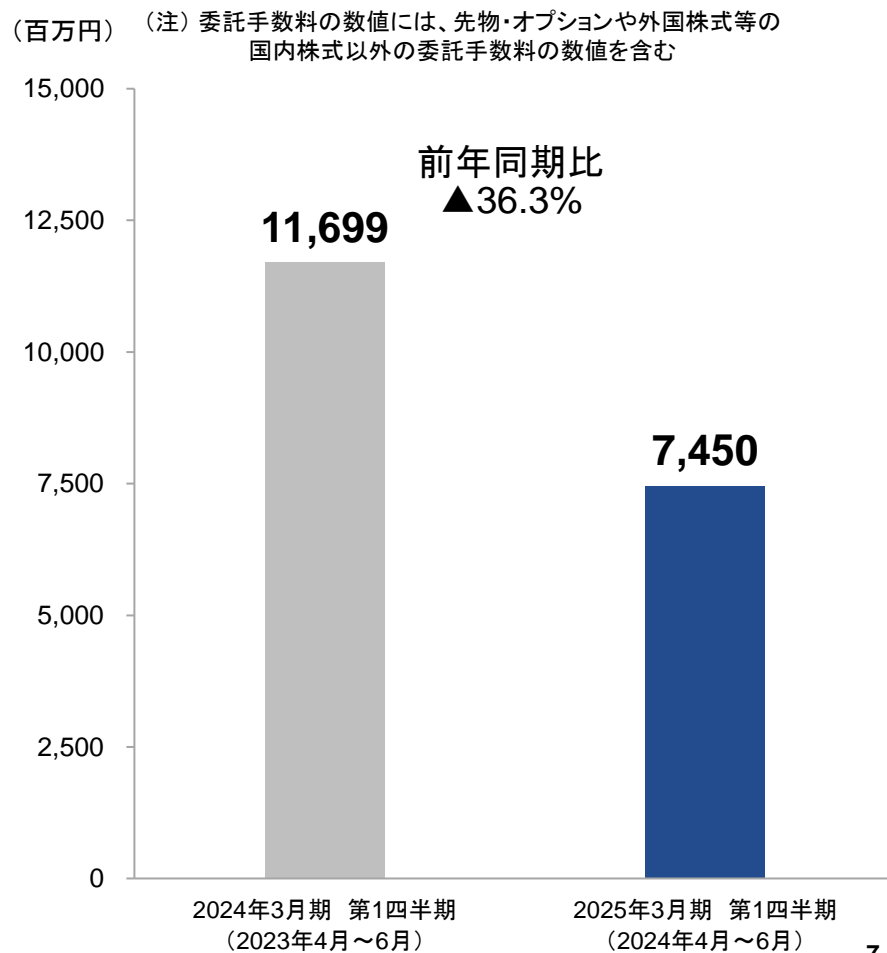
出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社集計

委託売買代金と委託手数料の動向

<国内株式委託売買代金>



<委託手数料>

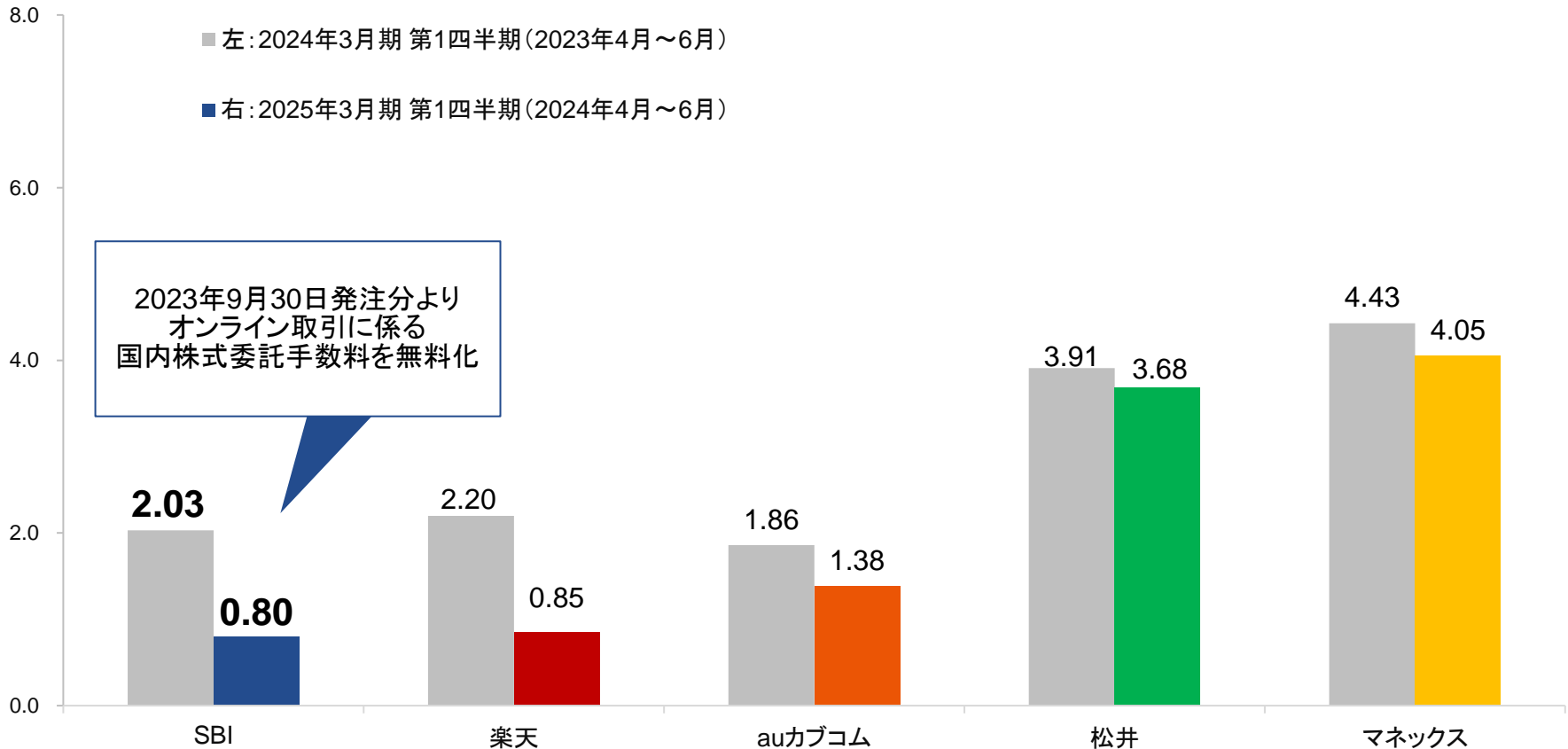


主要インターネット証券のベースス比較

(委託手数料÷委託売買代金)

(注) 委託手数料の数値には、先物・オプションや外国株式等の国内株式以外の委託手数料の数値を含む

(ベース)



主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、auカブコム証券、マネックス証券、松井証券

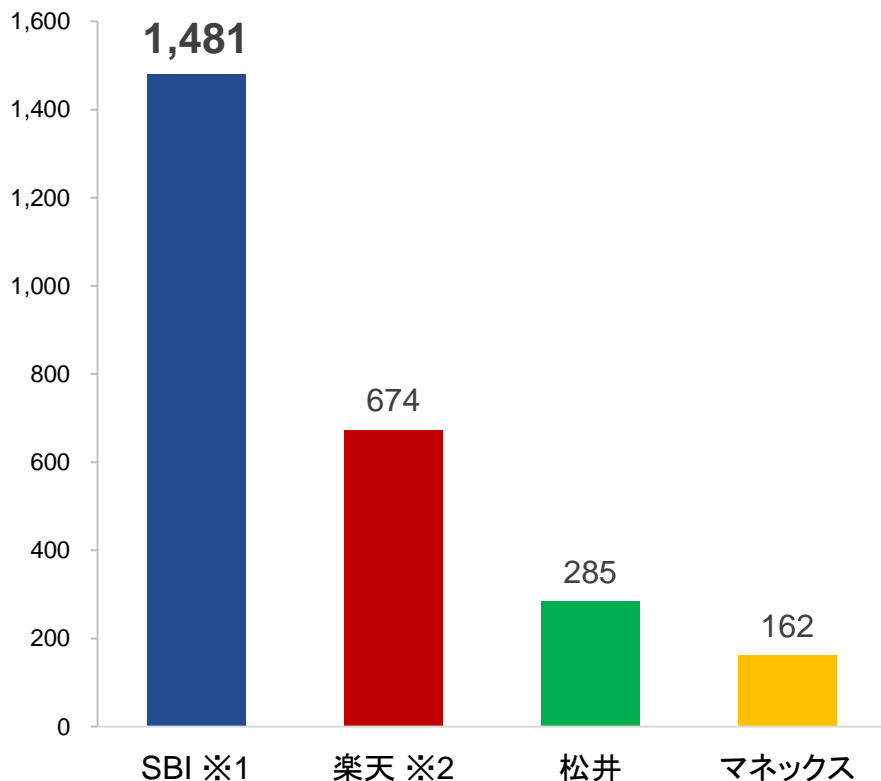
出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成
委託手数料は決算短信より数値を使用

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

＜主要インターネット証券の信用取引口座数＞

(2024年6月末時点)

(千口座)



※1 SBIの口座数には、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数を含む

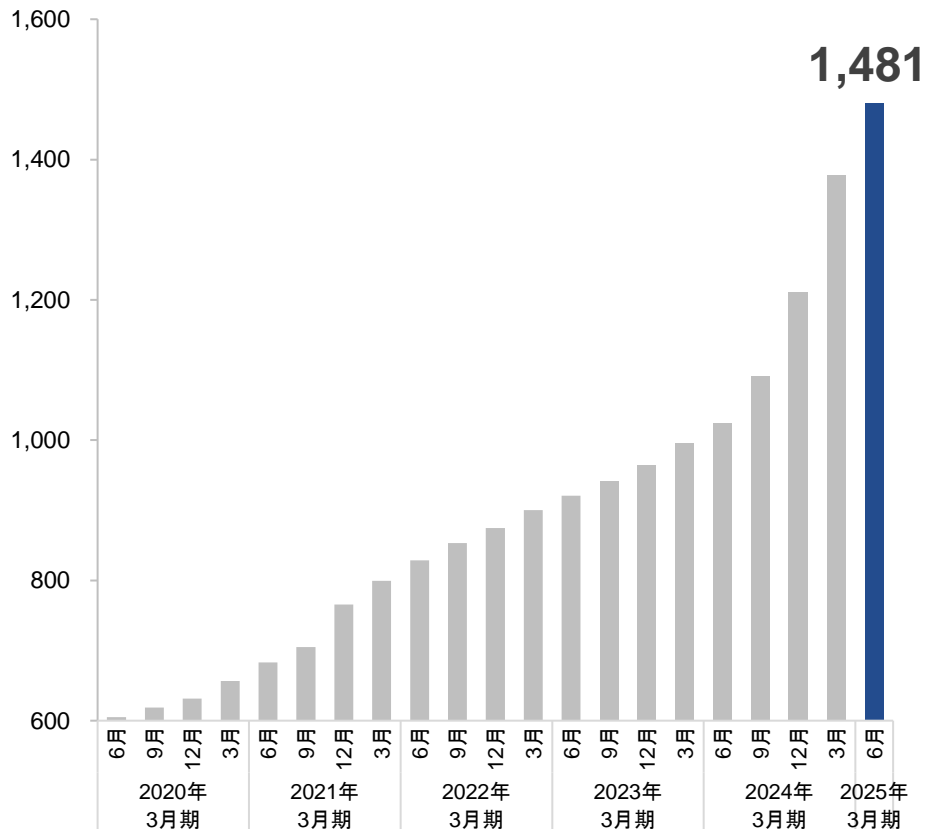
※2 楽天証券は2023年12月末の数値

データを開示している楽天証券、マネックス証券、松井証券及びSBI証券の4社の数値を比較

＜信用取引口座数推移＞※1

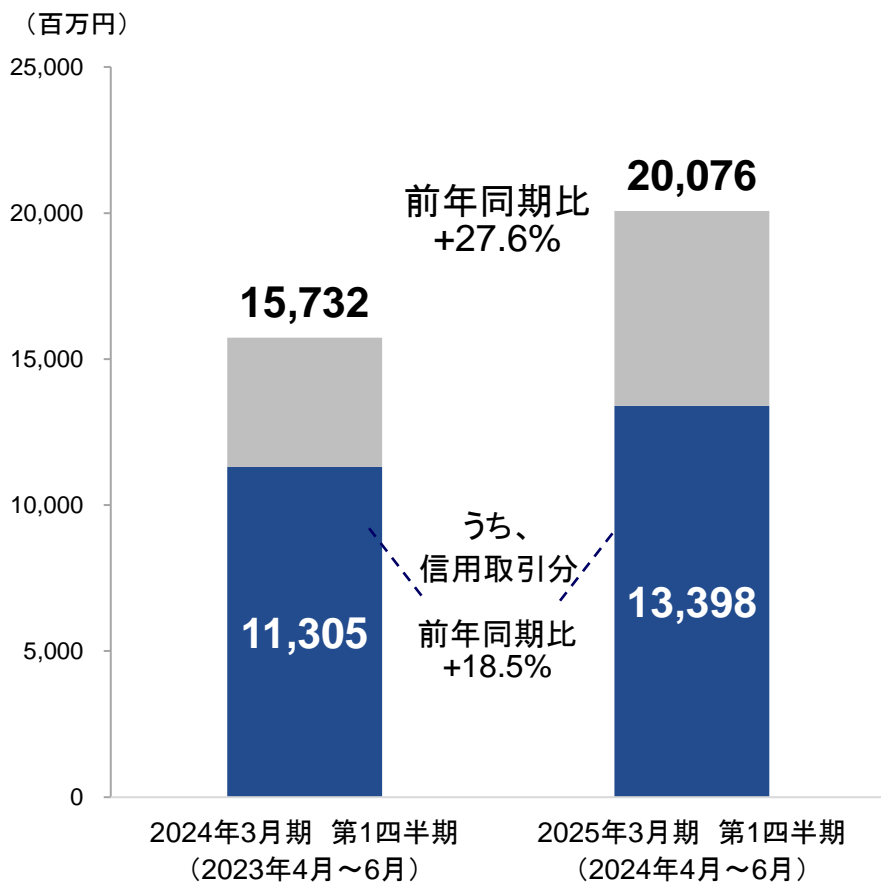
(各月末時点)

(千口座)

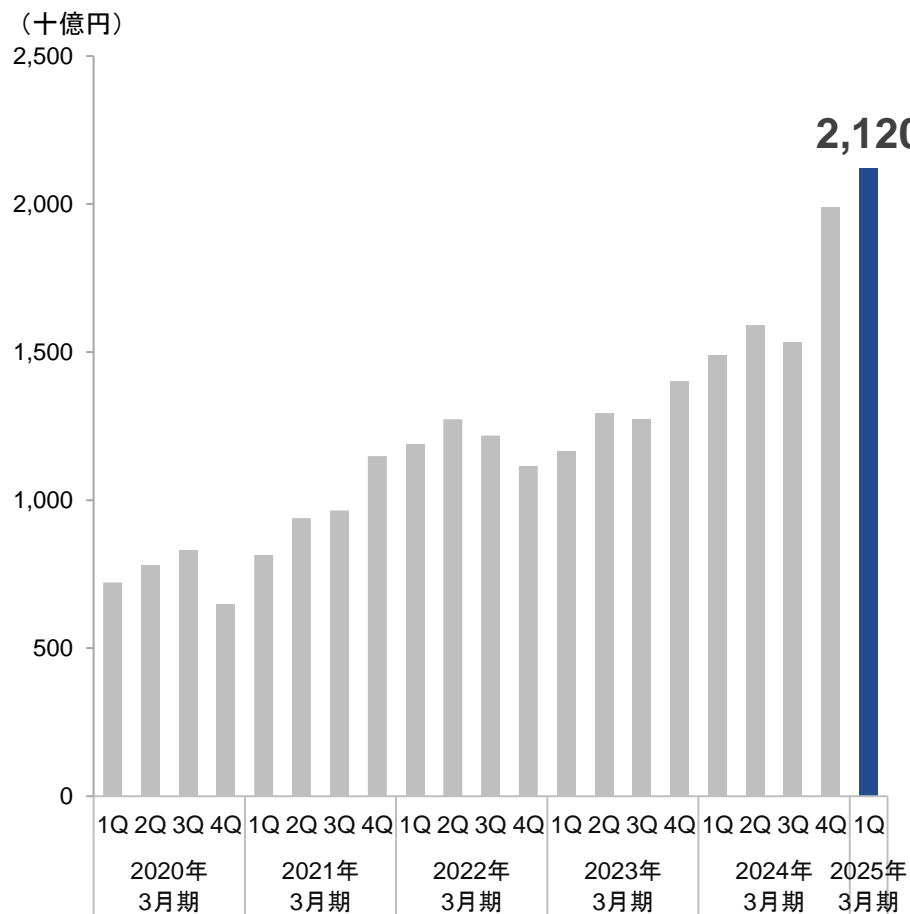


金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>



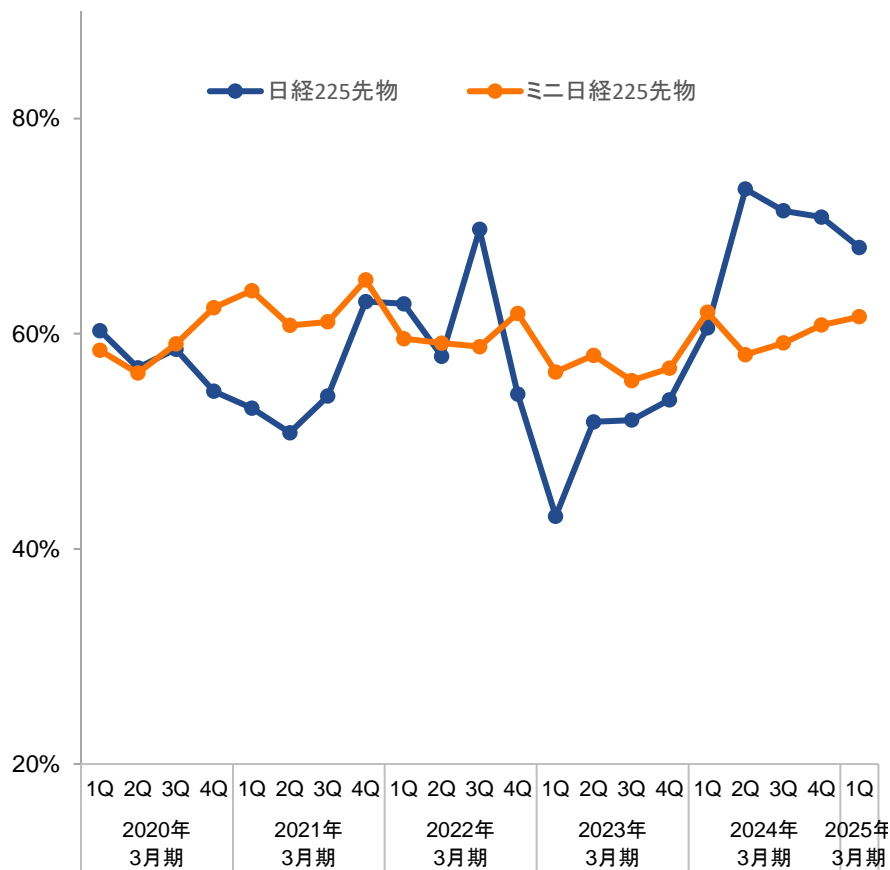
<信用取引建玉 月末残高の推移>



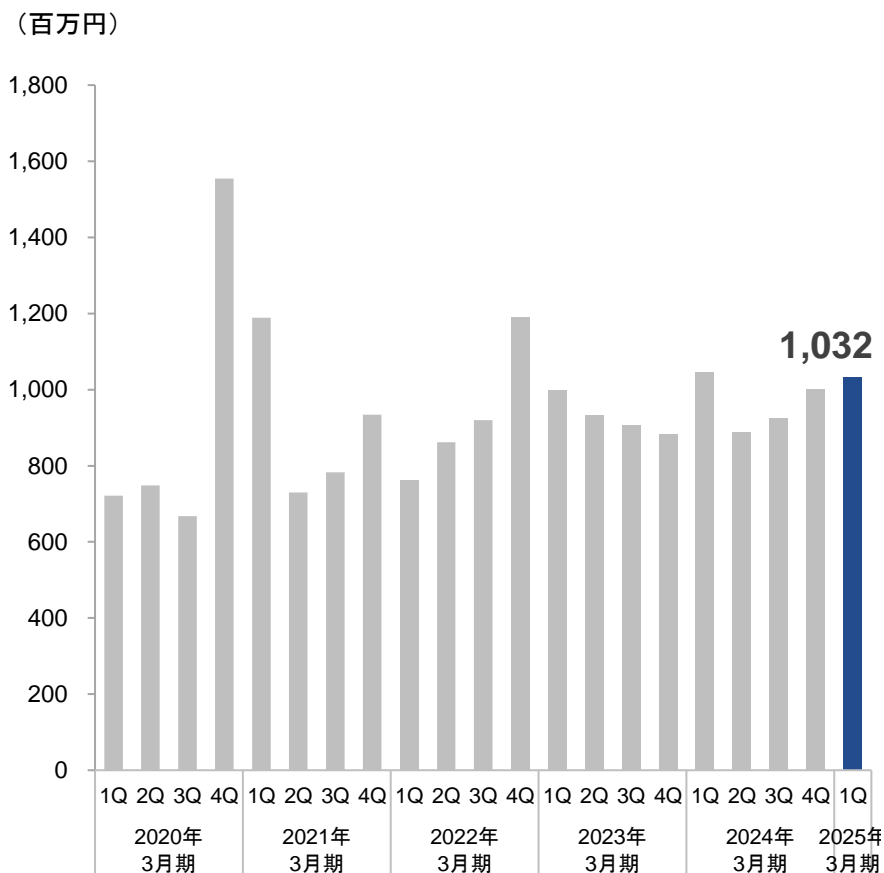
先物・オプション売買代金シェアと手数料の推移

- 先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>

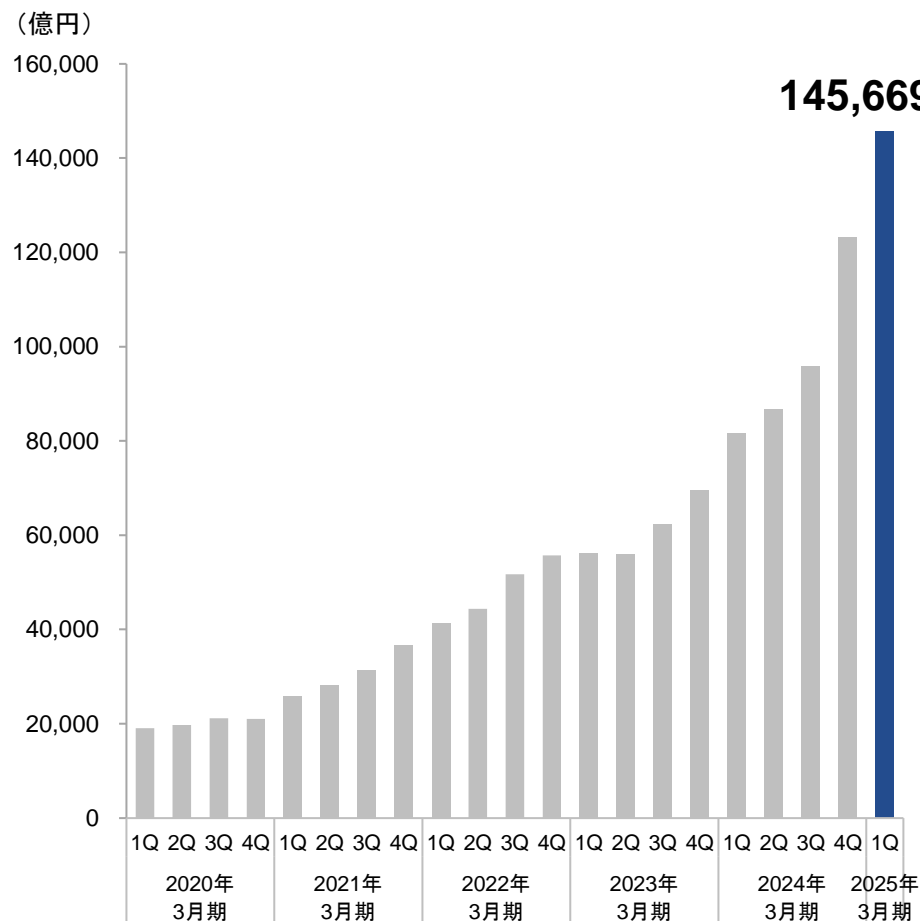


<先物・オプション収益>

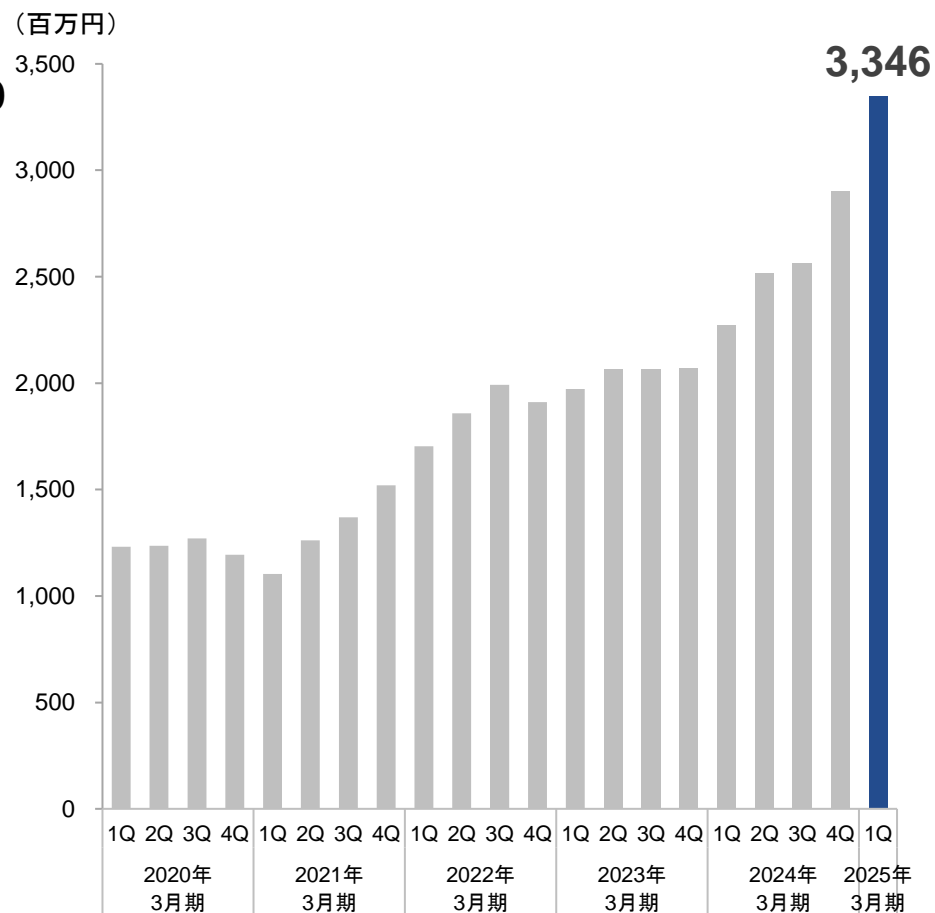


投資信託残高と信託報酬の推移

<投資信託 四半期末残高>



<投資信託 信託報酬額>

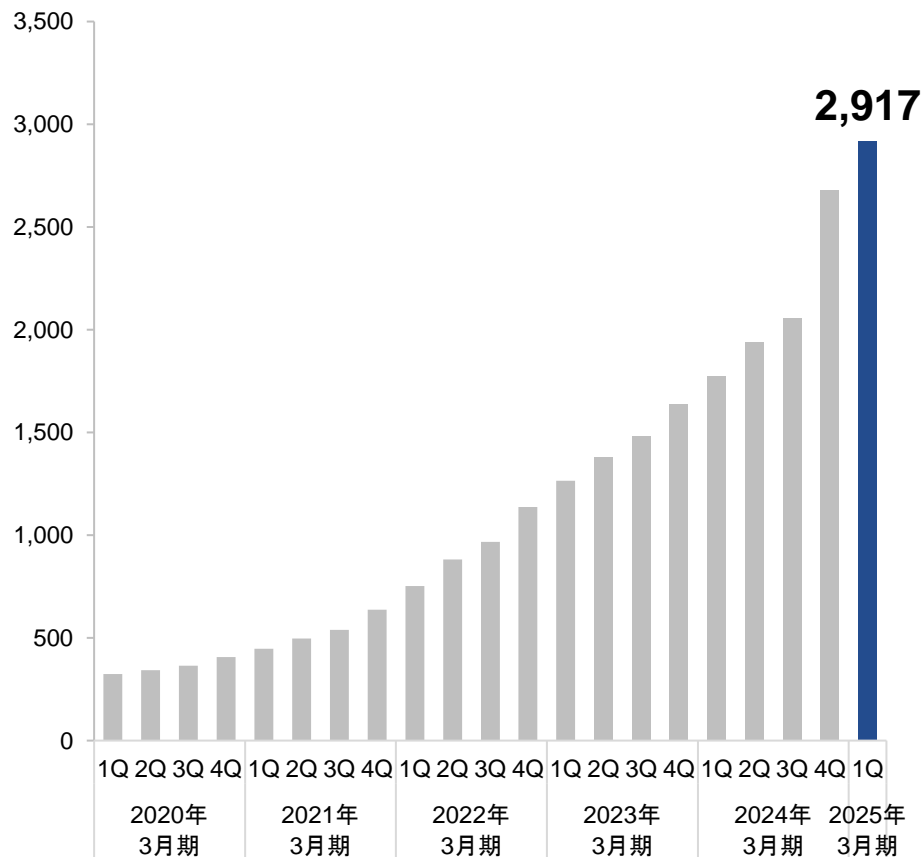


※国内外ETF、外貨建てMMFを含む

投信積立設定口座数・金額の推移と取扱商品状況

<投信積立口座数の推移>

(千口座)

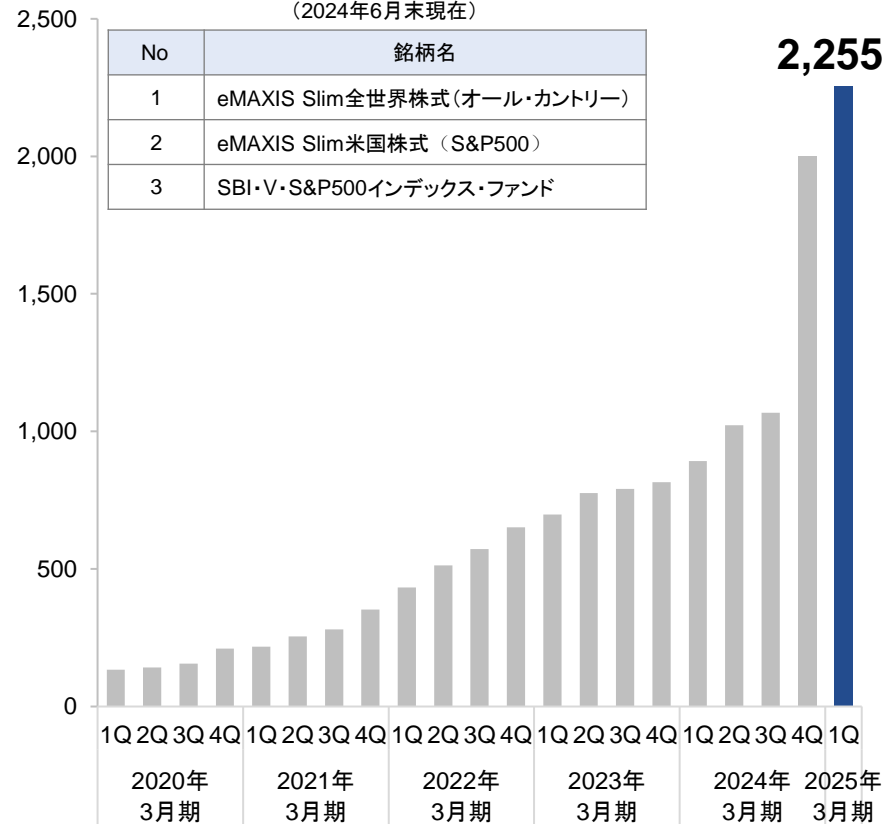


<投信積立金額の推移>

(億円)

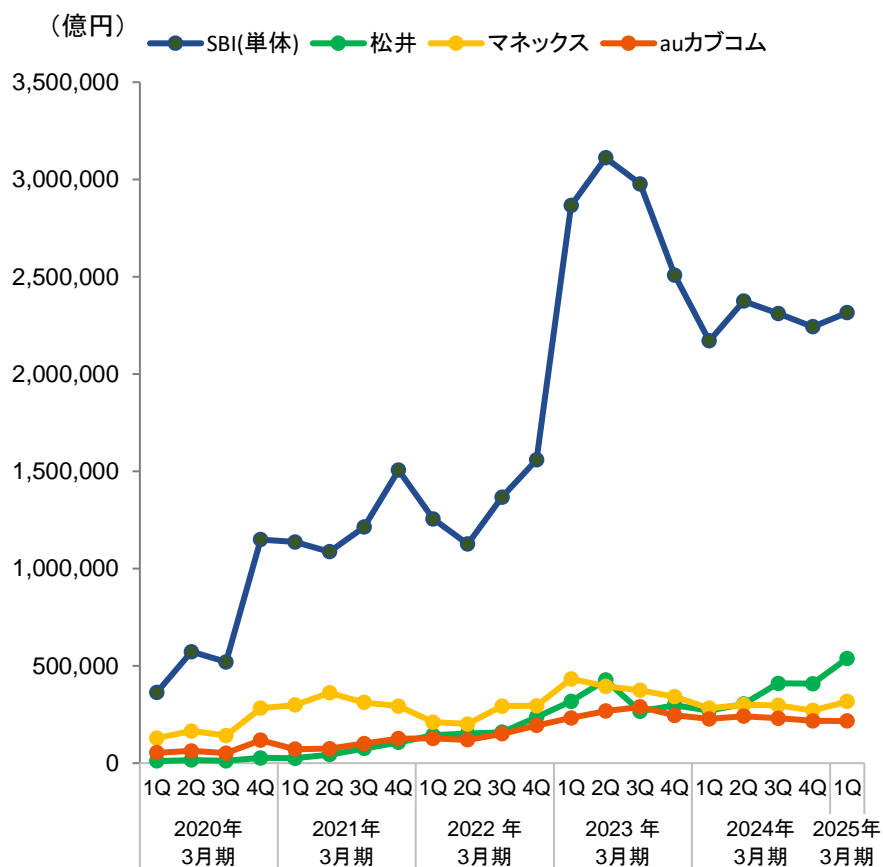
<売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄>
(2024年6月末現在)

No	銘柄名
1	eMAXIS Slim全世界株式(オール・カントリー)
2	eMAXIS Slim米国株式(S&P500)
3	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド

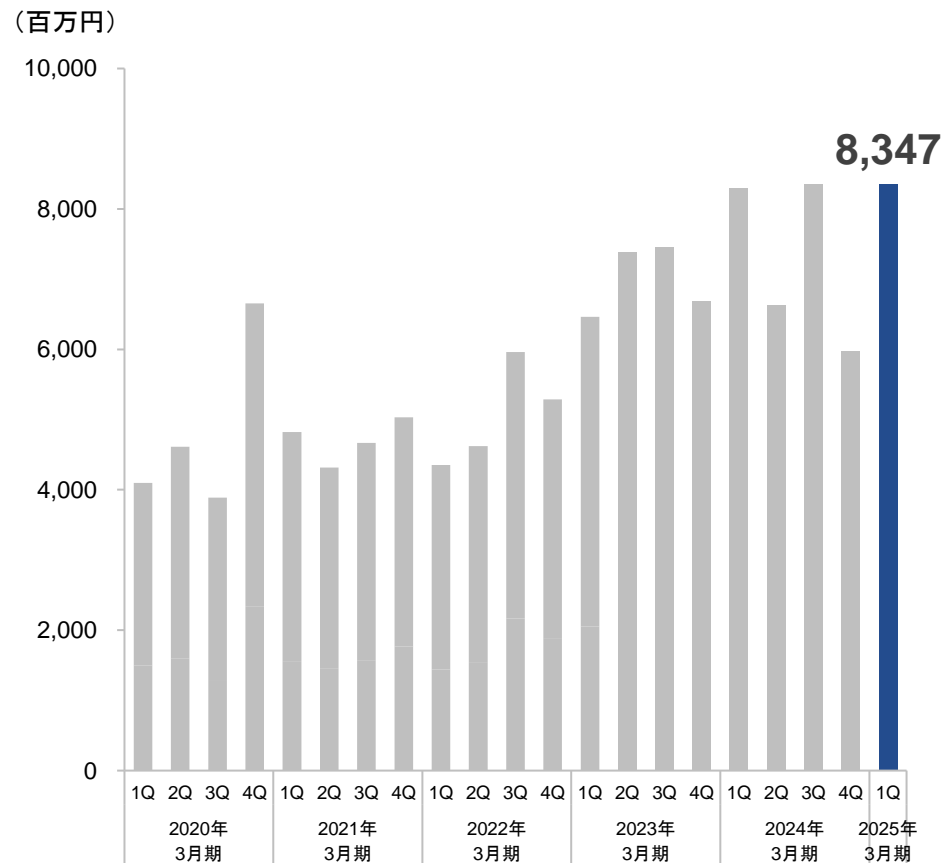


FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>



<FX収益推移>



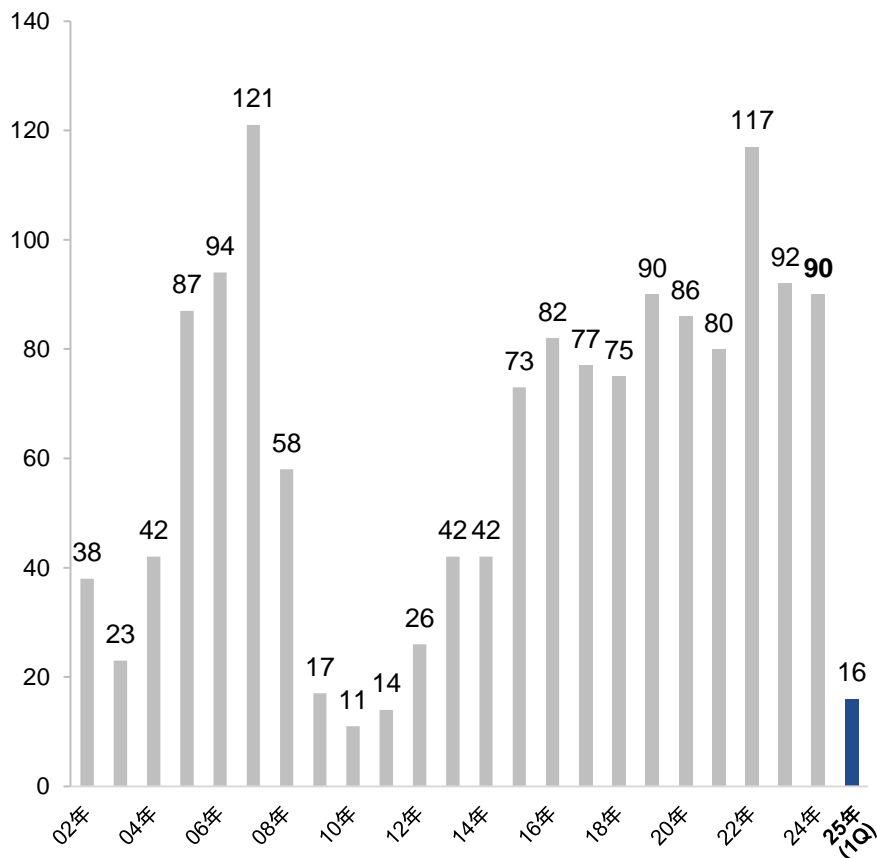
※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、auカブコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

新規公開株式(IPO)の引受実績

- 2024年4月から6月までの上場会社数は18社。
- 同期間のSBI証券引受関与率は88.9%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>

(引受社数)



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2024年4月~6月)>

社名	件数	関与率
SBI	16	88.9%
日興	13	72.2%
野村	13	72.2%
みずほ	11	61.1%
楽天	11	61.1%
松井	10	55.6%
大和	8	44.4%
マネックス	8	44.4%
岡三	7	38.9%
岩井コスモ	7	38.9%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

NISA口座の状況

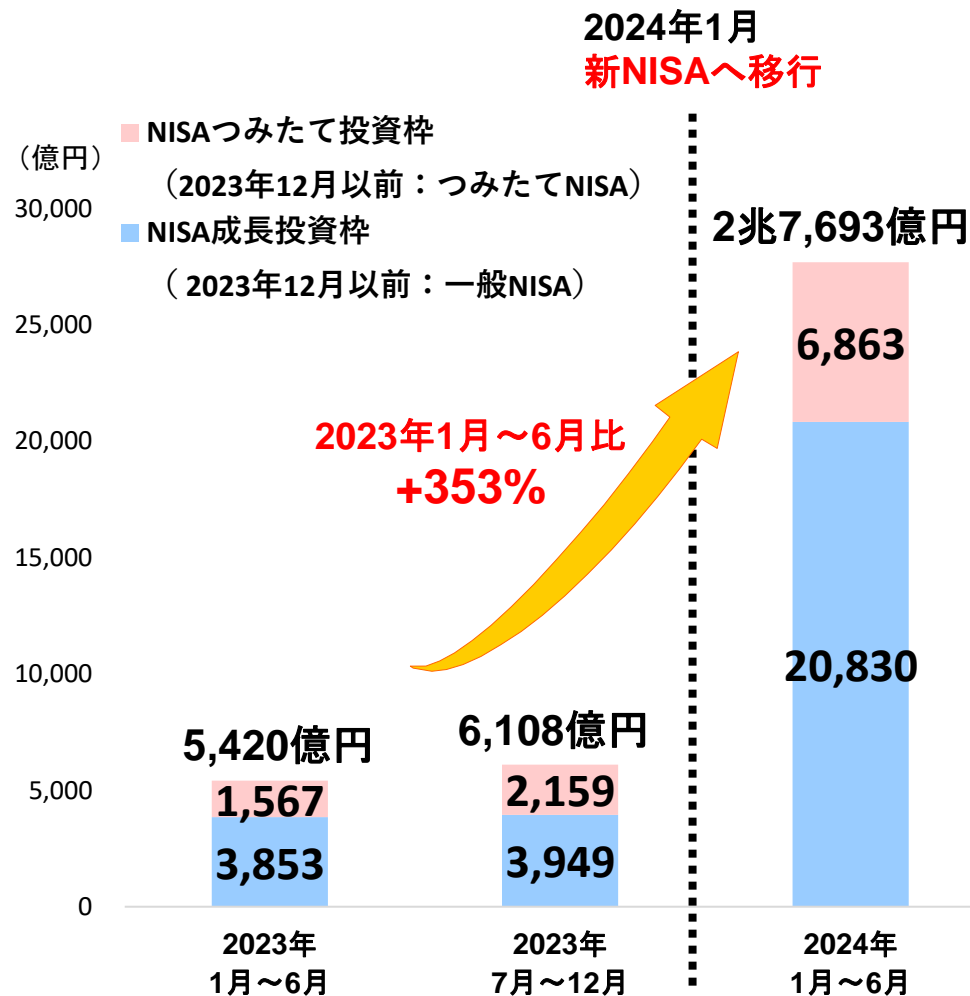
<NISA口座数(2024年6月末累計)>

口座数	504万口座
-----	--------

<国内株式買付金額上位銘柄> (2024年1月~6月累計)

No.	銘柄名(銘柄コード)
1	日本電信電話(9432)
2	日本たばこ産業(2914)
3	三菱UFJフィナンシャルグループ(8306)
4	トヨタ自動車(7203)
5	KDDI(9433)
6	三菱商事(8058)
7	アステラス製薬(4503)
8	武田薬品工業(4502)
9	オリエンタルランド(4661)
10	日本製鉄(5401)

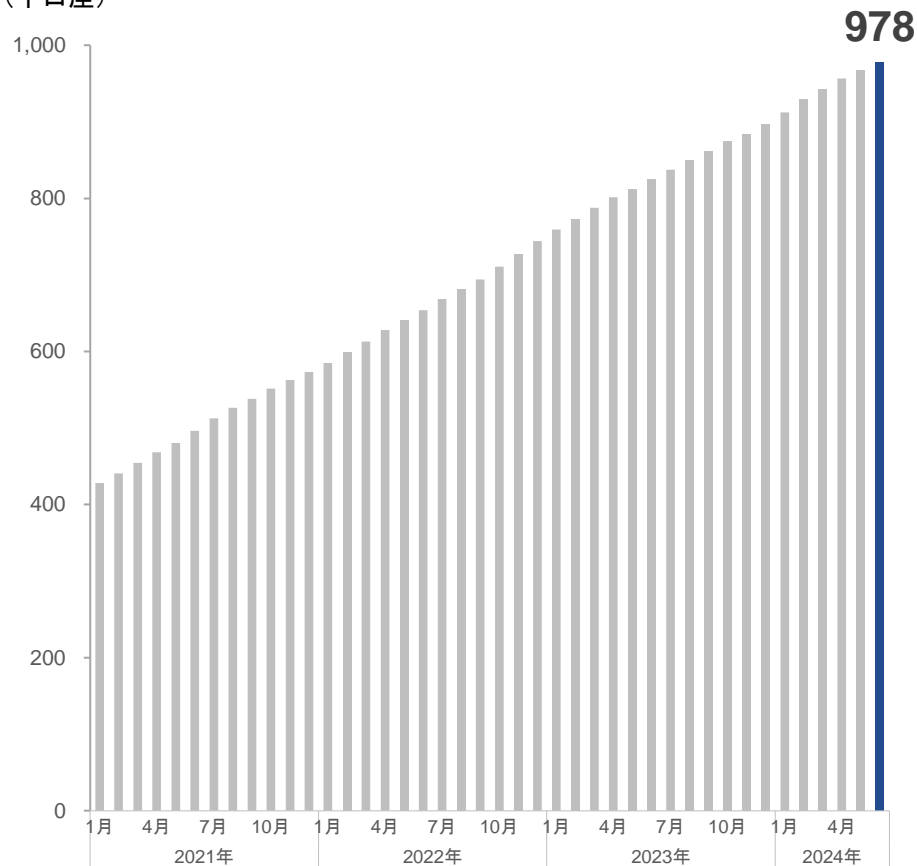
<NISA買付金額>



iDeCo口座数・残高の推移

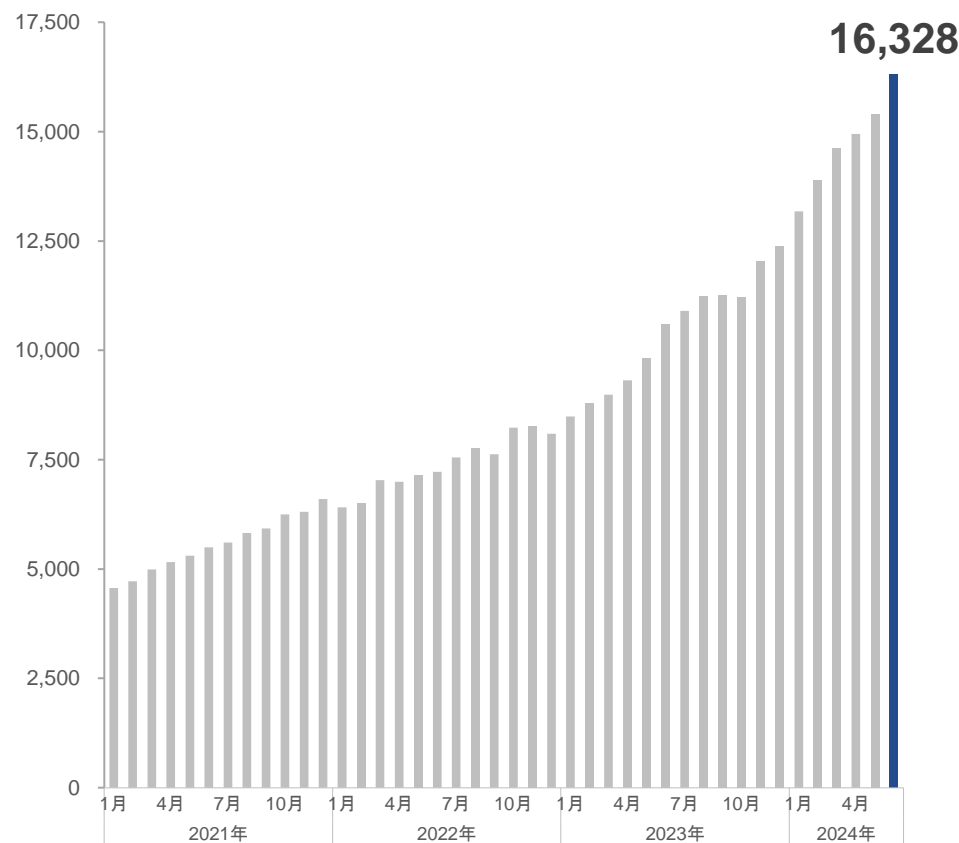
<iDeCo口座数の推移>

(千口座)



<iDeCo残高の推移>

(億円)



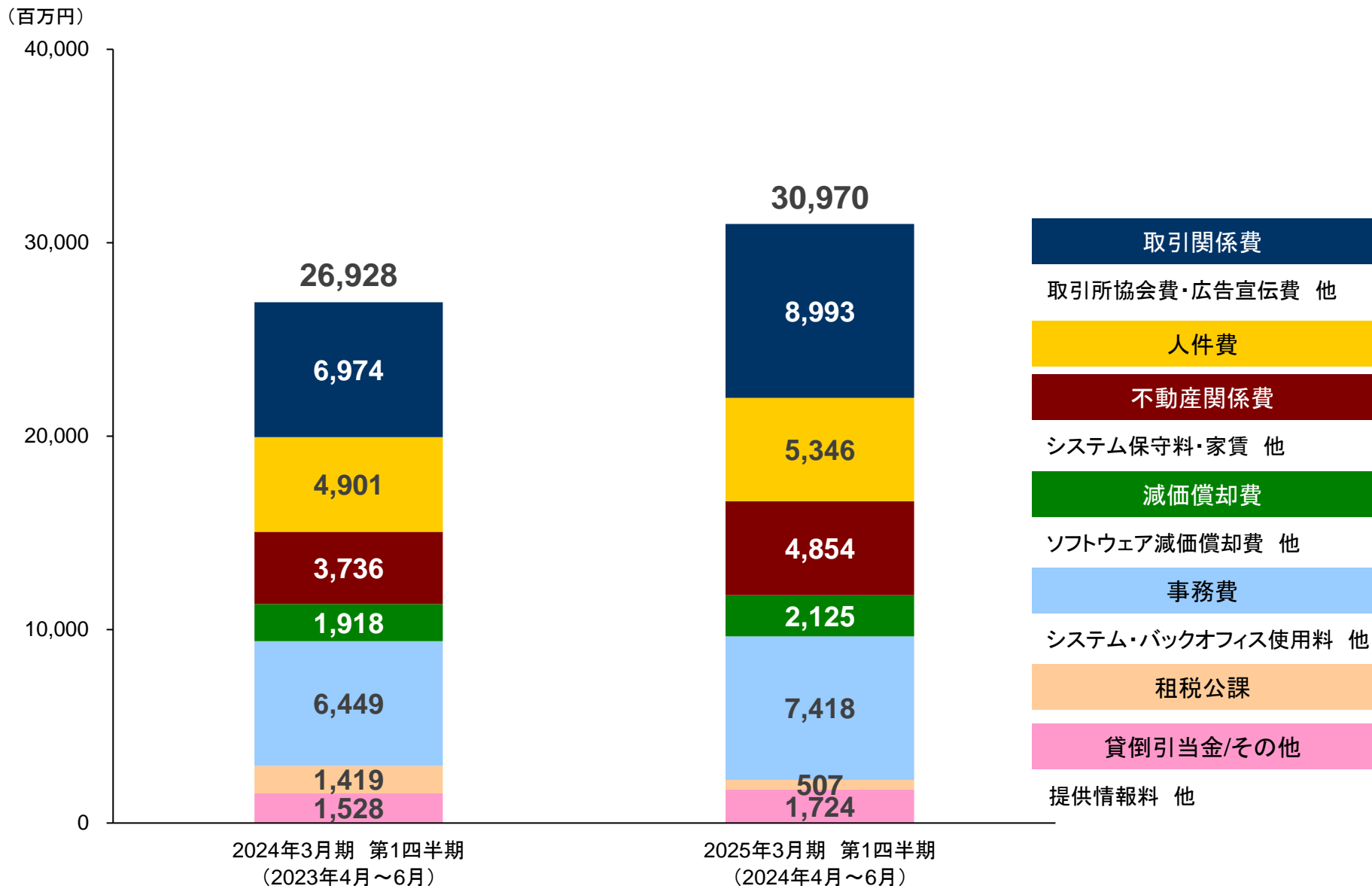
※加入者・運用指図者の合計
 ※出所：国民年金基金連合会

※残高は当社集計

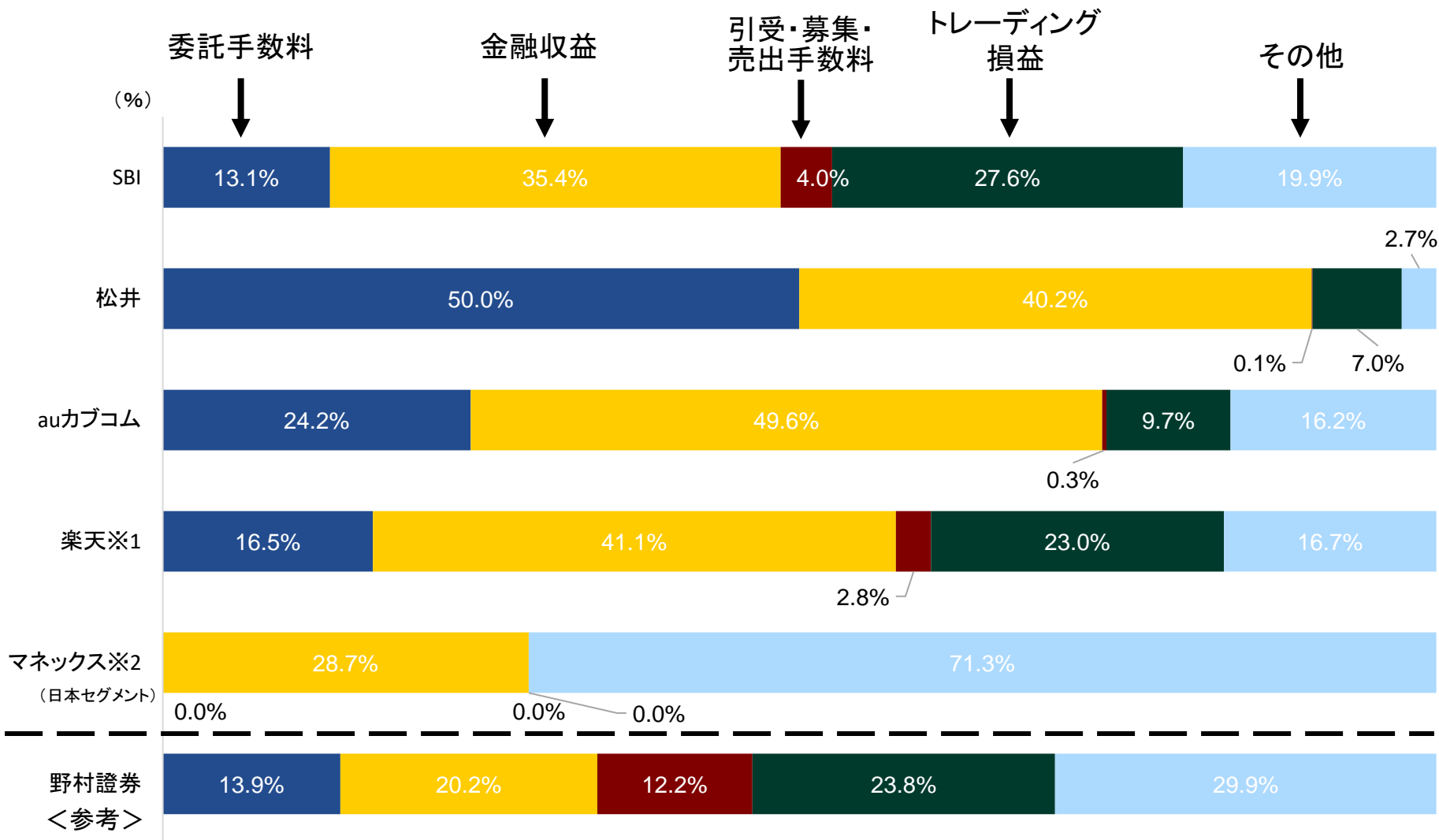
2025年3月期 第1四半期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2024年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> • 「債券シミュレーション」サービスの提供を開始(4月) • 投資信託の積立設定金額2,000億円を突破(4月) • 主要ネット証券初、国内株式信用残高2兆円を達成(4月) • 国内株式現物取引マッチングサービス「SBIクロス」の提供を開始(4月) • 国内株式関連オンライン取引システムをAWSクラウドへ移行(4月) • わずか3ヶ月間(2024年1月～2024年3月)で新NISA新規口座開設件数80万口座を突破(5月) • 「JALの資産運用」サービスの提供を開始(5月) • 「SBIラップ」残高1,000億円を突破(5月) • 「はじめて信用[®]」口座開設数が30万口座を達成(5月) • 預り資産残高40兆円を突破(6月) • NISA口座数500万口座を達成(6月) • 口座開設がスムーズになるマイナンバーカードを利用した公的個人認証サービスを開始(6月) • ひろぎんライフパートナーズ株式会社との金融商品仲介業サービスを開始(6月)

販売費・一般管理費の内訳



主要インターネット証券各社 2025年3月期 第1四半期営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

※1 楽天証券の数値は、2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2023年4月～2024年3月の期間での数値を使用

※2 マネックスグループの数値は、マネックス証券を含む「日本セグメント」の数値を記載

＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

＜金融商品取引法等に係る表示＞

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、
日本商品先物取引協会